



3月5日、相差町の海女小屋「はちまんかまど」を営む兵吉屋（野村一弘社長）のみなさんが市役所を訪れ、共同通信社などが地域活性化に取り組む団体を表彰する「第2回地域再生大賞」の優秀賞受賞を市長に報告しました。

海女小屋「はちまんかまど」では、海女さん22人が所属し、地元で取れた新鮮な魚介類を焼いて観光客をもてなすほか、貴重な海女文化を伝えています。

木田市長は「これからも地元の資源や文化を生かした活動を続けてください」と受賞を喜びました。

「地域再生大賞」優秀賞を受賞！



2月1日より運航が開始されたドクターヘリの連携訓練が、2月27日、鳥羽展望台で実施されました。

訓練は市消防本部とドクターヘリとの連携を確認する内容で、交通事故により重度傷病者が発生したとの想定で行われました。

消防本部からドクターヘリの出動要請を受けて基地病院から出動したヘリは、約20分後に鳥羽展望台の臨時ヘリポートに到着し、医師らが救急処置を行い患者を機体に収容しました。

訓練後に消防署員らは、医師やヘリ乗務員に積極的に質問をするなど、現場での連携について確認しました。

救急医療体制の強化を図る



保健福祉センターひだまりで2月23日、「おいでよ！餅つきまつり」が開催されました。

このイベントは社会福祉協議会が平成15年から実施しており、この日は市障害者互助会のかたや子育て中の親子など、約100人が参加してきねと臼を使った餅つきを楽しみました。

参加者は、「よいしょ！」の掛け声に合わせて勢いよく餅つきを行い、楽しい雰囲気の中、あんこやきな粉、のりなどでつきたてのお餅を味わいました。

ぺったん、ぺったん楽しいな



2月29日、かもめ幼稚園で保育参観の一環として、保護者も一緒に参加するひな人形作りが行われ、園児が一週間前から作成していたひな人形を仕上げていきました。

ひな人形は厚紙や紙コップなどをつなぎ合わせて形作ったものに、各家庭から持ち寄った布や毛糸などを貼り合わせて作成しました。創作意欲をかき立てられた園児たちは、自由な発想で人形作りに取り組んでいました。

参加した保護者もこどもたちと話をしながら人形作りを手伝い、楽しい時間を過ごしていました。

親子で作るオリジナルひな人形！